

研究課題名	武蔵野赤十字病院における転倒転落事故対策の検証
研究機関名	武蔵野赤十字病院 医療安全推進室 パラマウントベッド株式会社
研究責任者	所属 パラマウントベッド㈱ 研究開発部 氏名 初雁 卓郎
研究期間	平成28年6月 ～ 平成28年10月
研究の意義・目的	<p>転倒転落事故は要因が多岐に渡るため、その対策も複合的に実践されている。対策立案のプロセスについてデータの裏づけを伴って言及している取り組みは少なく、アセスメントシートの評価結果を転倒防止看護計画書にどう反映するかは現場の判断に委ねられている。そこで本研究では、アセスメントシートと転倒防止看護計画書とで相関があるプロセスを抽出し、転倒防止看護計画書立案プロセス（以下、転倒防止プロセス）を標準化して看護の質向上を図ることを目的とする。具体的には、病院が持つ転倒転落に関するデータを分析し、以下の2つを導く。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 患者状態別に転倒防止プロセスを体系化する</li> <li>② ①の転倒防止プロセスで該当しない転倒転落事故の要因・対策を反映する</li> </ol>
研究の方法 (対象期間含む)	<p>目的①については、2013年の武蔵野赤十字病院における全入院患者のうち入院時に転倒・転落事故対策アセスメントを実施し、転倒防止看護計画書を作成したリスク患者に関するアセスメントシートおよび転倒防止看護計画書データを分析する。目的②については、上記データおよび2013年の武蔵野赤十字病院における転倒転落事故報告データを分析するとともに、目的①で抽出された転倒防止プロセスを参照する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 患者の身体機能別にアセスメントシート項目と転倒防止看護計画書チェック項目で高い相関を示すものを抽出し、アセスメントシート項目から確認すべき転倒防止看護計画書チェック項目を明示し、プロセス化する。</li> <li>② 事故報告データから①で作成した転倒防止プロセスに適合しない要因を抽出し、対策を検討する。具体的には下表のような要因が想定され、対策が明示可能な項目は転倒防止プロセスに反映する。</li> </ol> <p>研究開始は、臨床研究倫理審査委員会による承認を得た日とする。研究終了は平成28年10月31日とし、ヒアリング等による現状確認を含めた報告書作成を含むものとする。ただし、期日を待たずに報告書が完成した場合は、その時点で研究終了とする。</p>
個人情報の取扱い (匿名化する場合はその方法を含む)	<p>データの取り扱いに際し、個人情報の漏えいリスクが生じるため、安全管理を実施する。具体的には、個人情報として活用するアセスメントシート、転倒防止看護計画書、転倒転落事故報告書を最初に連結不可能匿名化するとともに、データはハードディスクにてパラマウントベッド㈱が社内のカギ付きのロッカーに収納し、鍵を研究責任者が保管する。データ処理後はハードディスクを回復不能状態にする。データ分析時は、テクノスデータサイエンス・マーケティング㈱のセキュリティエリア（東京オペラシティタワー14階）においてプライベートネットワーク上の分析サーバにデータを格納し、分析終了後にデータを破棄する。</p>
問合せ先	<p>当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ</p> <p>〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 医療安全推進室 氏名 黒川美知代</p> <p>TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525</p>